

【住吉神社奉納演武を終えて】

西田館長・西田師範、両先生にはいつも暖かいご指導を頂きまして、感謝を申し上げます。また先日は住吉神社奉納演武に参加をさせて頂き、本当にありがとうございました。

今回の住吉神社奉納演武を終えて、入門からの歩みを含めて簡単ではありませんが、所感を述べさせて頂きたいと思います。

私は業だけでなく礼儀・作法含めて自分を磨ける武道を学びたいと思い、昨年5月に西国柳生新影流兵法錬心館の門を叩きました。入門時期が「平成30年記念福岡県武道大会」と近かったこともあり、館長と師範には試太刀(1本目の業)を徹底的に指導して頂きました。

約半年間一つの業に集中して稽古を致しましたが、「業の数にとらわれず一つ一つの業を大切に稽古することが次に繋がる」との館長のお言葉が、自分の中で励みとなり、真摯に取り組むことが出来ました。

そして、1月13日(日)の住吉神社奉納演武では神楽殿で一般参拝者の前で演武をする貴重な経験となりました。

前日は少し緊張もありましたが、当日は平常心で演武を行うことが出来ました。ただ演武の出来としては納得がいくものではなく、少し悔しさの残る演武となりました。

直近では横一文字紫電雁落(3本目の業)を指導して頂いておりますが、館長が常日頃おっしゃっているように「それぞれの業に対してこの業は出来ると思った時点で成長はなくなる」ということを胸に刻み、新しい業だけでなく教えて頂いた全ての業を大切に磨いていきたいと考えております。

仕事の関係上、福岡に居られる期間は限られておりますが、毎回の稽古を真摯に取り組みさらに成長していけるように努力を続けてまいります。

最後になりましたが、今後とも御指導御鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

平成31年2月1日 K 剣士

【住吉神社奉納演武を終えて】

今回、私にとって初めての奉納演武でした。

演武前日は、本番に向けて不安なこともありましたが、当日は落ち着いて精一杯演武出来たようでホッとしました。

私はまだ「業」を1本しか習っていないので、来年は他の業も覚えた上でしっかりと大きな声を出して、奉納演武に臨みたいです。

平成31年2月1日 大崎 剣士

【住吉神社奉納演武を終えて】

工事中